

# 佐々木たかのり

刈谷市議 活動レポートNo4 令和6年7月号



連絡先：デンソー労働組合内 〒448-8661 刈谷市昭和町1-1  
☎ (0566) 87-6731 Fax (0566) 23-8688 発行：佐々木たかのり

## ご挨拶

厳しい暑さが続いておりますがいかがお過ごしでしょうか。この時期心配なのは熱中症だと思います。高温多湿の状況に長くいる事で体温調節機能が働かず、**体に熱がこもり**体調を崩します。屋外だけではなく、**屋内であっても発症**します。市では公共23施設（生涯学習センターや夢と学びの科学館体験館等々）をクールシェアスポットとして開放しています。涼みながら各種イベントを楽しんでもらい、心と体の健康増進を図ってもらえると幸いです。また、带状疱疹予防接種費用の一部助成が新しく始まりました。50代以上の方は是非ご検討下さい！



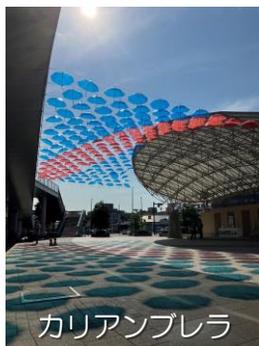
### ■活動の3本柱■

①安全で住み  
続けたい

②世代を超え  
地域で支え合う

③将来に渡り  
賑わう

まちびんご



## 令和6年6月度 市議会 福祉産業委員会質疑

### スタートアップ育成の取組、スマート農業への取組を問う

Q：経済の好循環を作っていくために、これまでも起業家を育成するための異業種交流で新しい発想を生む場「IKOMAI DESK」や起業家育成支援プロジェクト「NOWかりや」など実施してきたが、今年度始まった「スタートアップ連携事業」目指す先は何か？

取組③将来賑わい

A：市内中小企業とスタートアップとのマッチングをサポートし、革新的なアイデアや技術の導入でイノベーションを支援、新たな事業を創設し市内他企業へ好循環の波及を目指す。今後商工会議所や地域金融機関との共同組織を立ち上げ、包括的で持続可能な支援体制を確立していく。

Q：刈谷市の農業従事者の高齢化や担い手不足が懸念される。問題解決のひとつの手段として、IoTやAIの技術を活かしたスマート農業への取組が必要、刈谷市の取組状況はどうなっているのか？

A：令和5年度には、水田の灌漑水の水位調整にスマートフォンを用いた遠隔操作の実証実験を行い、得られたデータを農業者への報告会で共有した。6年度は「スマート農業機器導入支援事業補助金」を創設、市内の認定農業者・法人に対しスマート農業機器購入費の1/3、上限150万円（個人）または250万円（法人）の補助を行い、ドローンや自動運転コンバイン、トマトの自動収穫ロボットといった機器の導入を促進しています。

取組①安全安心

# 市政トピックス

6月に可決された補正予算の一部を紹介します。

## ■ 高校生世代の通院医療費助成準備事業

令和7年度から高校生世代の通院時の医療費の窓口支払いが補助され、実質的に**無償化**されます。



《医療費助成準備事業の懸念点を解説》

高校生世代の医療費が実質無料となり子育て支援としてメリットがある事業ですが、不必要な医療受診で健保保険料の増額が懸念されます。また、自治体間で補助有無の不公平というデメリットが懸念され、県・国レベルで実施すべき事業と考えます。2つのデメリット解消に向け市へ強く要望してまいります。

## ■ (仮称) 逢妻川河川敷運動公園整備事業

歴史博物館の西側にサッカー場・多目的グラウンドが整備され、併設されるトイレは従来は仮設式でしたが、今回は水洗式トイレが整備されます。



## ■ 学童の連休お弁当サービスの取組

令和5年9月に議会で要望した放課後児童クラブの長期連休お弁当サービスの令和6年の続報を紹介します。昨年の2学童から全15学童に対象を拡大してお弁当サービスの実証実験を行います。現在プロポーザル(本事業の提示・募集)を実施していますのでご期待下さい。



## 新しい公園のご紹介

神田公園(現テニスコート)のリニューアル計画をご紹介します。(R10年度末完成目指します)



他にも、刈谷総合病院南の立体P東にも住吉公園が移転し「たまち公園」建設が計画されています。

## 暮らしの相談

側溝が10cmの段差、歩行者・自転車の転倒危険！

■ 寿町で側溝と道路に約10cmの段差がある箇所があり、通りかかる歩行者や自転車が転倒する危険があるとの声を頂きました。

■ 市に現地の危険性を理解してもらい、側溝の構造を変更して段差のない安全な側溝に改良できました。



地域の困りごと、市政へのご意見・ご要望がございましたら、「暮らしの相談カード」「ホームページから」お気軽にご相談ください。



Facebook



公式HP